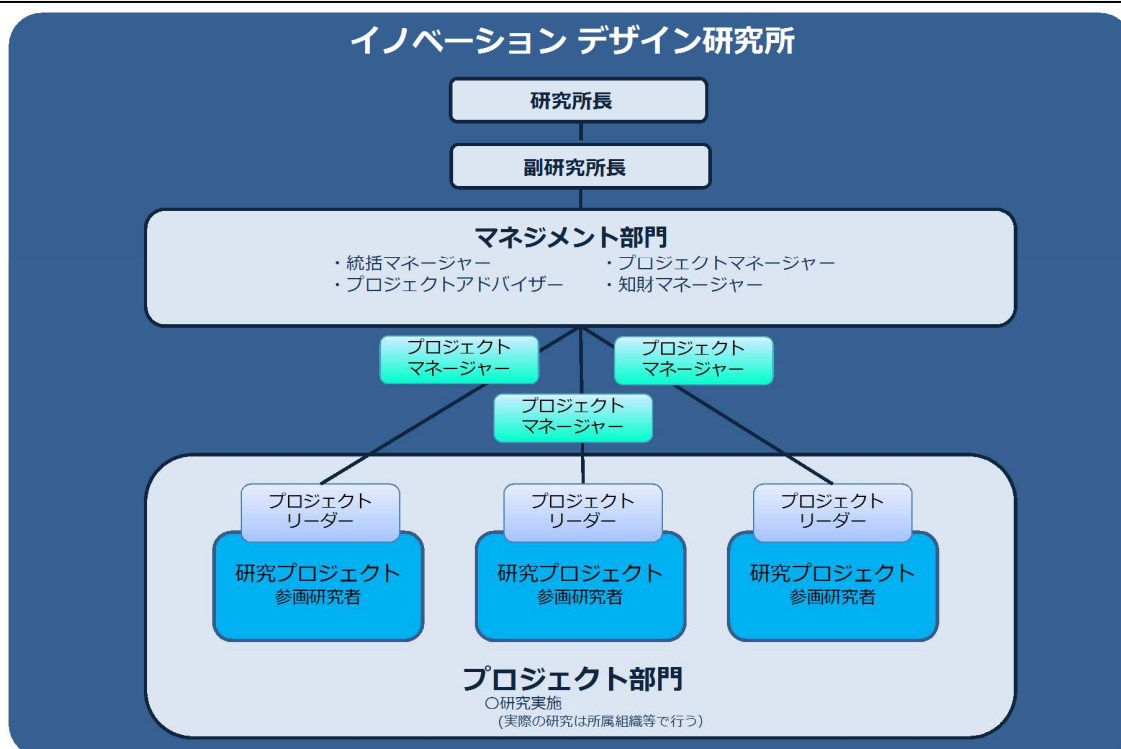


ー産学官のオープンイノベーションのプラットフォームー 「イノベーションデザイン研究所」を設置

本学は、大型の共同研究を推進するためのオープンイノベーションのプラットフォームとして、「イノベーションデザイン研究所」を10月1日付で設置しました。

平成30年4月に企業・自治体等からの様々な要請を一元的に受入れ、組織的に対応するため、「産学官連携統括本部」を設置しましたが、その重点目標である産学官の「組織対組織」の連携推進には、①提案力（研究内容の先進性、研究成果の実用化のシナリオ等）、②部局横断的なチーム編成など連携の柔軟性、③財務管理・知財管理等に関するマネジメント体制等の機能強化が求められていました。このたび、同研究所の設置により、これらの機能強化を図り、本学における産学官連携を基盤とする研究をより一層推進・加速させます。



概要

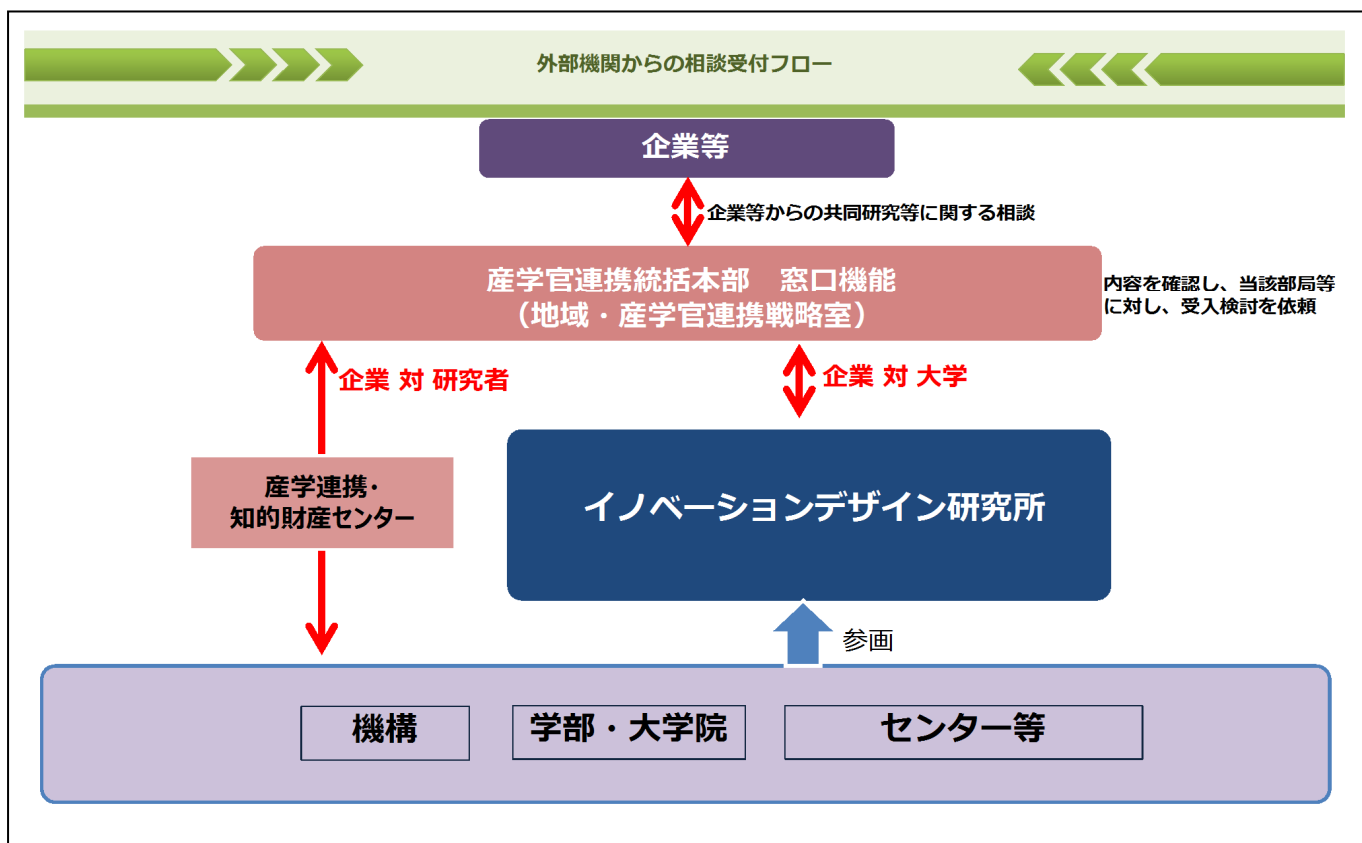
組織対組織で実施する大型の共同研究の創出・提案を行うとともに、新たに設ける「特別共同研究」*を受入れ実施します。この一連の過程をマネジメント部門とプロジェクト部門が一体となり、一元的に対応することで、目標達成に向けた効率的かつ円滑な進捗管理を行います。

本研究所の設置により、全学の研究力を結集した研究チームを編成して、企業等との大型研究プロジェクトを遂行し、産学連携・官学連携を基盤とする研究開発と人材養成を加速・推進します。

※特別共同研究とは

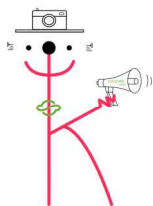
イノベーションデザイン研究所においてマネジメントする大型研究プロジェクト。原則として、複数部局による分野横断的な研究チーム編成により実施します。研究プロジェクトごとに、参画研究者の研究を統括するプロジェクトリーダー、研究の進捗管理、資金管理等を行うプロジェクトマネージャーを配置します。

外部機関からの相談受付フロー



イノベーションデザイン研究所がマネジメントする「特別共同研究」のメリット

- ☑ 一元的で迅速な対応により、研究開始までの時間が短縮されます。
- ☑ 全学研究者から、研究の目的に応じた最適な研究チームが編成されます。
- ☑ 研究の進捗管理により、プロジェクトの進行が可視化されます。
- ☑ 参画企業等の意見・要望が、プロジェクトに的確に反映されます。
- ☑ 研究資金のマネジメントにより効率的な運用がはかられます。
- ☑ 外部の研究員受入れにより企業等の研究人材のブラッシュアップにつながります。



— お問い合わせ先 —

- 香川大学 学術・地域連携推進室 地域・産学官連携推進グループ 小野、入屋
TEL : 087-832-1356 メール : chiikikt@jim.ao.kagawa-u.ac.jp